

## 2016年度事業報告

### 1. 基本事業

#### (1) 資料収集保管事業

##### ①資料収集

- ・特別展、企画展等を通じて館外の関係者と資料の受贈・寄託を受けられるようにした。
- ・差別・人権に関する既存資料を核とした収集を継続した。

##### ②資料保管

- ・収蔵資料目録により、資料の所在を確認し、整備に努めた。

#### (2) 調査研究事業

- ①当館の基本理念を活かすために、日本社会の歴史と文化に根ざした人権問題を総合的に対象とした調査研究を推進した。

- ②調査・研究の成果は総合展示・特別展・企画展・教育普及活動などを通じて広く還元した。

#### (3) 展示公開事業

##### ①特別展

第71回特別展「子どもの未来をひらくー大阪の人権教育の取り組みからー」

期 間 2016年7月20日(水)～9月3日(土)

主 催 大阪府人権教育研究協議会、大阪市人権教育研究協議会、大阪府在日外国人教育研究協議会、大阪市外国人教育研究協議会、大阪府立学校人権教育研究会、大阪市立高等学校人権教育研究会、大阪私立学校人権教育研究会、大阪府専修学校各種学校連合会、ちゃいんどネット、部落解放同盟大阪府連合会、大阪府教職員組合、大阪人権博物館

会 場 大阪人権博物館特別展示室

##### ②企画展

###### 1) 「受け継がれるアイヌ民族の文化」

期 間 2015年4月13日(水)～6月25日(土)

主 催 大阪人権博物館

会 場 大阪人権博物館特別展示室

###### 2) 「大阪人権博物館の歩み」

期 間 2016年4月13日(水)～9月10日(土)

主 催 大阪人権博物館

会 場 大阪人権博物館ギャラリー

###### 3) 「らい予防法」廃止20年、国賠訴訟勝訴15年記念企画展 人間回復への道ー

ハンセン病問題は問いかける

期 間 2016年9月14日(水)～11月26日(土)

主 催 ハンセン病市民学会、大阪人権博物館

会 場 大阪人権博物館特別展示室

#### 4)「アイヌ文様作品展 アイヌアート in 大阪」

趣 旨 アイヌ民族によって培われ、伝承されてきた刺繍を通じて、刺繍に託された  
思いと文化の役割について考えました。

期 間 2016年11月9日(水)～11日(金)

主 催 チシポ(針入れ)の会(北海道白老郡白老町)

会 場 大阪人権博物館ギャラリー

※公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の助成により実施

#### 5)「もっと知ろう！もっと考えよう難民のこと ー同じ時代 同じ地球に生まれた んだからー」

期 間 2016年11月19日(土)～2017年3月18日(土)

主 催 RAFIQ(在日難民との共生ネットワーク)、大阪人権博物館

後 援 部落解放大阪府民共闘会議、ヒューライツ大阪、UNHCR駐日事務所、認  
定NPO法人難民支援協会、公益財団法人アムネスティ・インターナシヨナ  
ル日本、アフガン孤児支援・ラーラ会、シリア支援団体『サダーカ』、公益  
財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部、日本ビルマ救援センター、RA  
WAと連帯する会

会 場 大阪人権博物館ギャラリー

#### (4) 教育普及事業

##### ①特別展関連(共催)

シンポジウム 「子どもを守る教育の課題」

日 時 2016年7月30日(土) 14時～

会 場 リバティホール

##### ②企画展関連

1) リレートーク「ハンセン病問題と私」&シンポジウム「ハンセン病回復者の人間  
回復への道はついたかー私たち一人ひとりも当事者として取り組もうー」

日 時 2016年10月8日(土) 14時～

会 場 リバティホール

2) 関連企画：関西在住のビルマ難民に聞く

日 時 2016年11月19日(土) 14時～

会 場 大阪人権博物館研修室

3) 関連企画：アフガニスタン難民の話を聞こう！

日 時 2017年1月14日(土) 14時～

会 場 大阪人権博物館研修室

4) 講演会「今日の難民問題、日本が出来ること」

日 時 2017年3月18日(土) 14時～  
会 場 リバティホール

③「写真と資料でたどる近代の部落問題」(全4回)

日 時 2016年7月23日、8月20日、9月24日、10月22日  
何れも土曜日、14時～  
会 場 大阪人権博物館研修室

④講演会「北の大地で学んだことアイヌ民族の歴史・文化・人権について」

日 時 2016年11月12日(土) 14時～  
会 場 大阪人権博物館研修室

## 2. ホール事業

①「怒塾・童・怒」なにわ太鼓演奏会(共催)

日 時 2016年5月29日(日) 14時～  
会 場 リバティホール  
主 催 太鼓集団「怒」、大阪人権博物館

②なにわりバティ祭り2016

主 催 大阪人権博物館  
協 力 浪速連合振興町会、浪速地域・地域活動協議会  
日 時 2016年11月26日(土) 10時～  
会 場 中庭  
内 容 舞台発表、各種の催しと模擬店の出店

③リバティアートフェスタ2016(共催)

日 時 2017年1月21日(土) 10時～  
会 場 リバティホール、ホワイエ  
内 容 学校諸団体による文化活動の発表会  
主 催 大阪人権博物館、大阪市人権教育研究協議会、大阪市外国人教育研究協議会

## 3. 観覧サービス事業

(1) 館内提供サービス

①研修サービス

内 容 総合展示(部落問題)に関する解説、後援

②太鼓と皮革のまちを歩くフィールドワーク(社会人向け)

内 容 博物館周辺の皮革等に関係する歴史遺稿のフィールドワークと事前学習

③学校向けの見学時のサービスはホームページ上のワークーシートの活用、ガイドボランティアによる観覧支援を行った。

(2) 総合展示関連

#### ①博物館ボランティア

- 内 容 1. スターティングガイドならびに展示室内での質問対応  
2. 各体験コーナーのプログラムの実施  
3. 当館の事業運営に関わる広報・宣伝・美化・清掃

#### ②事業補助スタッフ

- 内 容 1. 総合展示に即した講義を行う  
2. 太鼓と皮革のまちを歩くフィールドワークのガイダンスと案内  
3. 当館の事業運営に関わる広報・宣伝・美化・清掃

### 4. 広報活動

#### (1) ホームページ、Facebook

- ①年間のスケジュール、各事業について、広報紙の発行に合わせて計画的に、迅速に掲載した。
- ②一般来館者、学校関係者、行政機関、企業など、当館の来館者層にあわせた活用法を紹介した。
- ③ホームページ上のプレスリリースコーナーに各種事業の情報を掲載した。
- ④賛助会員への情報提供
  - ・サポーター会員へ各種事業のチラシ等で周知した。(6月、9月、11月、2月)
- ⑤特別展、企画展は共催者と協力して関連団体への周知を行った。
- ⑥マスコミの活用
  - ・報道資料による各種事業の情報提供を行った。
  - ・新聞記者個人への報道資料提供を行った。
- ⑦関西文化の日への参加
  - ・11月19日の「関西文化の日」に参加した。(無料入館)

### 5. 利用促進活動

#### (1) 大阪府教職員組合の教育研究集会

日 時 2016年10月15日(土) 9時～

場 所 摂津市立第三中学校

内 容 「人間回復への道ーハンセン病問題は問いかける」のパネル展示と、インターネットによる寄附の依頼のチラシの配付。

#### (2) 部落解放全国研究集会

日 時 2016年10月18日(火)～20日

場 所 奈良県

内 容 インターネットによる寄附の依頼のチラシの配付。

#### (3) 同和・人権問題企業連絡会

日 時 2017年3月1日(火) 13時

場 所 大阪府立労働センター

内 容 同和・人権問題企業連絡会理事会で現状と寄附の依頼を行った。

### 6. 自主財源確保

#### (1) サポーター会議の開催

日 時 2016年5月7日(土) 14時～

会 場 ガイダンスルーム

内 容 運営状況とリバティおおさか裁判

総合展示と2016年度事業

サポーターの継続と拡大

講 演 「大阪の部落問題と人権の課題」

### 7. 組織整備

#### (1) 評議員会(6月開催)

2015年度の事業計画、予算、事業報告、決算等を審議する公益財団法人の議決機関としての役割を果たした。

#### (2) 理事会(5月、6月、10月、1月、3月開催)

評議員会の議決に基づいて、執行機関として事業の推進と組織運営、予算執行を円滑におこなうように努めた。

### 8. 訴訟への対応

弁護団、リバティおおさか裁判を支援する会と連携し、口頭弁論で財団の主張に万全を期した。

第4回口頭弁論 2016年 5月20日(金) 10時

第5回口頭弁論 2016年 7月29日(金) 10時

第6回口頭弁論 2016年10月21日(金) 10時

第7回口頭弁論 2016年 3月24日(金) 14時